



114
A 5163

明治十三年横濱正金銀行ノ創設アリシ以來政府ハ常ニ國庫準備金ノ一部ヲ
同行ニ委託シ荷爲替等ノ方法ニ據リテ正貨ヲ回收シ紙幣兌換ノ準備ニ供セ
シカ財政日ニ整理ニ就キ明治十九年ヨリハ兌換ノ制ヲ實施シ遂ニ本年度ヲ
限リ國庫ノ準備金ト日本銀行ヨリノ借入金トヲ以テ政府紙幣ノ消却ヲ了ラ
ントス於是乎正貨回收ノ事ハ之ヲ日本銀行ニ移サ、ルヘカラサルニ至レリ
日本銀行ハ所謂ル中央銀行ニシテ商業ノ中心ニ立チ經濟ノ根軸トナリ兌換
券發行ノ特權ヲ專有シテ以テ財政ノ運行ヲ圓滑ナラシムヘキモノナリ是ヲ
以テ常ニカヲ正貨ノ回收ニ用ヒ準備ヲ充實シテ金銀濫出ノ源ヲ塞クハ其本
分義務タルコト正義カ明治十五年同行設立建議書ニ於テ明白論陳セシカ如
シ故ニ同行ノ設立アリシ以上ハ正貨回收ノ事業ヲ同行ニ移シテ可ナリト雖



此當時創業ニ屬シ兌換券ノ發行スラ暫ク之ヲ許サ、ルカ如キノ情況ナリシ
 ニヨリ已ムヲ得ス政府自ラ其事業ヲ續行シ來レルノミ其後明治十七年ニ至
 テ兌換券ノ發行ヲ許シ昨二十一年更ニ條例ヲ改正シテ益其特權ヲ固フセシ
 ニヨリ今日ニ於テハ日本銀行カ正貨回收ノ義務ヲ負擔履行スヘキコト固ヨ
 リ當然ナリトス況ヤ正貨ヲ蓄積シテ準備金ヲ増殖スルハ同行自己ノ信用ヲ
 固フシ其營業ノ繁盛ヲ致スノ道タルニ於テオヤ
 然ルニ日本銀行ヲシテ正貨回收ノ事ニ從ハシメント欲スルニ當リテ本邦現
 時ノ狀勢ニ關シテ甚タ困難ナルモノアリ彼歐洲各國ノ如キハ貨幣市場互ニ
 相接近シ中央銀行ノ利子割合歩合ヲ引上クルノミニシテ容易ニ正貨ヲ吸收
 スルヲ得ヘキモ本邦ハ然ラス土地遠隔ニシテ運輸ノ費用往復時間ノ利子等
 少カラス單ニ利子割引歩合ノ作用ニ由テ正貨ヲ吸收スルコト甚タ難ク且外

國ノ經濟社會ニ於ケル本邦ノ信用未タ鞏固ナラサルヲ以テ外國中央銀行ノ
 經濟手段ヲ直ニ本邦ニ移用セント欲スルハ得テ望ム可ラス從來ノ經驗ニ由
 テ好果ヲ收メタル荷爲替等ノ方法ヲ繼續シテ海外ノ正貨ヲ吸收シ貿易ヲ獎
 勵シテ生産發達ノ謀ヲ爲スノ外他ニ奇計妙策アルヲ見サルナリ果テ然ラハ
 日本銀行ヲシテ自ラ荷爲替等ノ業務ヲ經營セシメン乎是中央銀行タル資格
 ノ斷シテ許サ、ル所トス

夫中央銀行ナル者ハ商業ノ中心ニ立チ經濟ノ根軸トナルヘキ者タルハ上ニ
 陳セシカ如シ故ニ普通諸般ノ業務ハ各銀行ニ放任シ銀行ノ銀行トナリテ金
 融ノ源ヲ疏通セサルヘカラス是各國中央銀行ノ事業ハ他ノ銀行ヲ經由シテ
 湊合シ來タル手形ノ割引ヲ以テ主要ト爲ス所以ナリ政府カ日本銀行創立
 ノ後幾モナクシテ手形條例ヲ頒布セルモ亦割引ノ業ヲ發達セシメントスル

ノ主旨ニ外ナラスシテ而テ日本銀行カ割引スヘキ手形ハ二名以上ノ裏書アルヲ要スルノ規定アルハ他ナシ再割引ノ法ニヨリ必ス他ノ銀行ヲシテ其間ニ介立シテ仕拂ヲ保證セシメ日本銀行ノ危険ヲ薄フスルカ爲メナリ故ニ日本銀行カ自ラ荷爲替等ノ業ニ當ルハ中央銀行タルノ資格ニ背クヤ言ヲ俟タスシテ明カナリ現行條例ノ嚴ニ營業ノ種類ヲ限リ此ノ如キ業務ヲ許サ、ルコト誠ニ其當ヲ得タリト謂ヘシ

日本銀行自ラ荷爲替等ノ業ヲ營ム能ハストセハ他ノ銀行ヲ使用シテ正貨回收ノ機關ト爲サ、ルヲ得ス而シテ其機關タルヘキモノヲ索ムルニ資格業務ニ於ケルモ經歷信用ニ於ケルモ正金銀行ヲ除クノ外之ニ適スルモノアルヲ見ス

正金銀行ハ十年來常ニ外國爲替荷爲替等ノ業務ヲ執リ其經驗ニ富メルコト

同行ニ過クルモノナシ開業後一時ハ經營宜キヲ得サリシ爲メ巨多ノ損失ヲ醸シテ殆ト倒産ノ悲境ニ陥ラントセシモ政府ハ其正貨回收ニ必要ノ機關タルヲ察シ特殊ノ保護ヲ與ヘテ之ヲ救濟セシニヨリ衰運ヲ挽回シテ大ニ發達進步ヲ致シ内外ノ信用ヲ得株金三百萬圓ヲ増シテ六百萬圓ト爲シ政府モ亦特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ保護シ日本銀行ト同シク監理官ヲ附シテ政府特別監督ノ一大銀行ト爲セリ政府カ數年ヲ出テスシテ數千萬ノ正貨ヲ積ミ兌換ノ制ヲ決行スルヲ得タルハ實ニ同行ヲ利用セルノ結果ニシテ同行ハ政府ヨリ下付セラレタル資金ヲ以テ爲替荷爲替ヲ爲シ政府ニ屬スル海外一切ノ經費ヲ支辨シ殘餘ヲ以テ金銀地金ヲ買收シ國庫ニ送納シテ以テ政府ノ目的ヲ達セシメタリ故ニ日本銀行カ正貨回收ノ事ニ從ハントスルニ當リテハ其經驗ニ富メル正金銀行ヲ利用スルノ便ナルニ如クハ莫ク且同行ハ政府特別ノ監

督ヲ受クルヲ以テ正貨回收ノ業ヲ營爲スルノ際萬一公益ヲ計ルノ目的ニ反スルノ所爲アルニ於テハ十分ニ之ヲ矯正スルノ道アリ其確實ナル固ヨリ普通銀行ノ比ニ非サルナリ

元來外國爲替ハ利益至テ少ク低利ノ資金ヲ有スルニ非サレハ其業ヲ營ム能ハス今ヤ政府ハ資金ヲ正金銀行ニ下付スルヲ止メントスルニ當リテ日本銀行亦國庫準備金部ノ繼續者トナリテ之ヲ利用スルヲ欲セスンハ何如ナル結果ヲ生スヘキカ正金銀行ハ其業務ヲ一變シ海外ノ支店ヲ閉鎖シ内地營業ノ銀行ト爲ルノ外ナカルヘシ是同行ノ爲メニハ格別ノ利害アルニ非スト雖モ國家經濟ノ上ヨリ觀察スレハ深ク憂慮スヘキモノアリ同行カ多年海外貿易ノ衝ニ當リ外國銀行ト競争シテ漸ク信ヲ外國ニ得タルヲ一朝ニシテ其業ヲ廢止スルハ大ニ我帝國ノ信用ヲ傷ツクルノミナラス外國爲替ハ再ヒ外國銀

行ノ手ニ歸シ一ケ年一億三四千萬圓ノ貿易ニ屬スル爲換料ハ總テ外國人ノ所得トナルヘク我國人ハ海外爲替ノ事ニ於テハ外國銀行ノ束縛ヲ甘ンセサルヘカラス一朝事アリ正貨ヲ海外ニ支出セントスル毎ニ外國銀行爲替料ヲ引上ケ官民共ニ非常ノ損害ヲ受クヘキハ往時ノ經歷ニ徴シテ明カナル所ニシテ其影響輸出入ノ權衡ニ及ヒ國家ノ不利決テ少クニ非ストス

是ヲ以テ之ヲ見レハ正金銀行ヲ利用シテ正貨回收ノ機關ト爲スハ日本銀行ノ爲メニ計ルニ最便ノ方法ニシテ又正金銀行ヲシテ外國爲替荷爲替等ヲ繼續セシムルハ國家經濟上必要ノ處分タルハ疑ヲ容レス日本銀行ハ内國ヲ經理シテ以テ外國ニ當リ正金銀行ハ海外ヲ經理シテ以テ内國ヲ益シ内國ニ事アルトキハ正金銀行其全力ヲ盡シテ日本銀行ニ補益シ外國ニ事アル時ハ日本銀行其全臂ヲ奮テ正金銀行ヲ贊助シ内外相應シテ以テ國家經濟ヲ利益ス

ルハ實ニ兩行創立ノ主旨ニシテ此ノ如クニシテ而テ後兩行モ亦始メテ其責任ヲ全フスト謂フヘキノミ

日本銀行ヲシテ資金ヲ正金銀行ニ托シ正貨ノ回收ヲ計ラシムルハ利益薄少ナルノミナラス時トシテハ多少ノ損失ヲ受クルコトナキヲ保セスト雖此是敢テ顧慮スルニ足ラス夫兌換券ノ信用ハ一ニ正貨準備ノ充實ニ依ル正貨ヲ回收シテ準備ヲ増殖スルハ猶榮養ヲ盛ニシテ身體ノ健康ヲ保ツカ如シ爲メニ費ス所ノ金額ハ決テ無用ノ經費ニ非ス若之ニ反シ僅々ノ損失ヲ厭ヒ貿易ノ自然ニ一任セハ輸出入ノ不平均ニヨリテ正貨ノ散出ヲ致スニ當リテ忽チ準備ノ缺乏ヲ告ケ兌換券ノ信用ヲ害シ國家ノ經濟上不測ノ禍害ヲ招クハ數ノ免レサル所ナリ平素無事ノ日ニ於テ百方正貨ヲ蓄積スルニ非スンハ焉ソ能ク有事ノ日ニ當リテ意外ノ災厄ヲ免ル、ヲ得ンヤ抑政府カ兌換券發行ノ

特權ヲ日本銀行ニ付與スルモノハ何ノ故ソヤ全國ノ金融ヲ疏通シ正貨ヲ充實シテ國家ノ信憑ヲ固フセシメンカ爲メノミ其責任固ヨリ普通銀行ト同シカラス區々タル眼前ノ小利害ヲ顧慮シテ正貨ノ回收ヲ忽カセニスルカ如キハ是中央銀行タルノ資格ヲ忘ル、モノニシテ何ヲ以テカ非常ノ特典ニ報スルヲ得ンヤ

日本銀行ト正金銀行トハ分業ノ法ニヨリ各其事ニ從ヒ互ニ相助ケテ以テ國家ノ經濟ヲ利益スヘキモノタルハ上ニ陳ヘタルカ如シ是以テ正義ハ前日親ク日本銀行ニ臨ミ當局者ニ諭スニ正貨準備ヲ増殖シテ兌換券ノ信用ヲ厚フシ通貨ノ基礎ヲ固フシ併テ外國貿易ヲ獎勵スルノ必要ナル事、正貨ヲ回收スルカ爲メニハ正金銀行所有ノ外國手形ヲ再割引シ且同行ヲ責任代理店トシテ外國爲替ニ從事セシムヘキ事、等ヲ以テス其要領ハ別紙甲號ノ筆記ニ

載スルカ如シ然ルニ同行總裁ヨリ乙號ノ答申書ヲ得タルモ主意分明ヲ缺ク
 ヲ以テ更ニ詳細ノ説明ヲ求メシニ丙號ノ方案ヲ提出セリ其前後陳辨スル所
 ヲ案スルニ日本銀行カ中央銀行タル資格責任ノ在ル所ヲ解セサルモノニシ
 テ之ヲ放任ニ付スルヲ得ス正義ハ職權上適當ノ處分ヲ斷行シ同行ヲシテ創
 立ノ目的ヲ失ハス其責任ヲ曠フスルナク以テ國家ノ經濟上至好ノ結果ヲ致
 サシムルノ義務アリト信ス因テ正貨回收ノ問題ニ於ケル日本銀行ト正金銀
 行トノ關係何如ヲ畧記シテ正義カ趣意ノ在ル所ヲ明ニスルコト此ノ如シ

松方正義識

甲號

外國手形再割引并ニ責任代理店開設ニ付日本銀行ニ告諭ス

過日口頭ヲ以テ横濱正金銀行所有ノ外國手形ヲ再割引シ并ニ同行ヲ責任代
 理店トシ外國爲換ノ事ニ從事セシムルノ必要ヲ勸誘セシハ兌換銀行券ノ信
 用ヲ厚フシ通貨ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ以テ日本銀行ノ信用ヲ確乎不拔ノ基
 ニ置キ併テ外國貿易ヲ鼓舞獎勵シ以テ國家ノ財源ヲ開クニアリ行員諸子能
 ク其意ヲ諒セラル、ヤ敢テ疑ヲ容レスト雖尙ホ誤解ナキカ爲メ敢テ書面ヲ
 以テ政府意志ノアル所ヲ告諭セン

抑政府ハ從來國庫中ニ準備ヲ置キ又ハ歲出中特ニ紙幣消却元資繰入金ノ科
 目ヲ置キ年々數百万圓ヲ支出シ正金銀行ヲ機關トシ外國爲換ノ事業ニ從事
 セシメ年々數百万圓ノ金銀ヲ海外ニ得準備ヲ増蓄シ以テ今日ノ準備金アル

ニ至レリ然ルニ方今政府紙幣ノ基礎稍ヤク固ク客歲勅令第五拾九號ヲ以テ紙幣統一ノ事ヲ制定セラレ將ニ明年四月一日ヲ期シ政府紙幣ニ係ル責任ハ總テ之ヲ日本銀行ニ引繼キ政府所有ノ準備ハ舉テ之ヲ同行ニ交付シ從來ノ準備部ヲ閉鎖セントス是レ時勢ノ進歩財政ノ整理上必要措ク能ハサル所ナリ而シテ銀行紙幣ハ漸次日本銀行ノ責任ニ歸スルヲ以テ同行ハ即チ通貨統一ノ衝ニ當リ其基礎ヲシテ泰山ノ安キニ置クノ責任アルハ固ヨリ論ヲ俟サルナリ果シテ然ラハ日本銀行ハ太平無事ノ日ニ於テ正貨準備ヲ厚シ以テ有事ノ日ニ備ヘサルヲ得ス然ルニ我國ノ貿易ハ未タ以テ盛大ト云フヲ得ス況ヤ又地理上ノ不利アルアリテ未タ劇カニ泰西諸國ノ如ク利子割引歩合ノ昇降ヲ以テ自在ニ金銀ノ出入ヲ促ス能ハス歩合ノ昇降ハ金銀ノ輸出入上其効驗甚タ微弱ニシテ到底此方法ヲ以テ信用ノ基礎ヲ維持スル能ハス又單ニ

金銀吸收ノ爲メ海外諸國ニ比シテ已ニ高歩ナル利子ヲ殊更ニ高カラシムルヲ得サルモノアリ然リト雖外國市場ニ於テハ利子割引歩合甚タ低ク二歩乃至二歩半ニ居ルヲ通例トス此低利ノ市場ニ向テ競争ヲ試ント欲スレハ我ニ於テモ可成低利ヲ以テ外國爲換ヲ割引セサルヲ得ス故ニ政府ハ自今日本銀行ハ從來ノ準備金部ノ繼續者トナリ安然ニシテ信用ヲ置クニ足ルノ機關ヲ設ケ若干資本ヲ投シ自ラ準備増殖ノ事ニ從事シ併テ橫濱正金銀行ノ所有スル外國爲換ヲ再割引シ以テ正金ヲ蓄積センコトヲ望ム而シテ其機關トシ使用スルモノハ方今ニ於テハ正金銀行ヲ措テ他ニ之アルヲ知ラサルナリ割引歩合ノ如キハ前陳ノ事情アルヲ以テ可成之ヲ低フシ年利二分ヲ超過セス又自ラ資本ヲ投シテ從事スル外國爲換事業モ凡二分ノ利益ニ止メンコトヲ望ム是レ實ニ負ハスノ重キニ失スルノ觀ナキヲ得スト雖我國ハ固ヨリ金銀生

四
産國ニ位セス金銀吸收ノ道ハ外國貿易ニ據ラサレハ之ヲ開ク能ハス實際已
ヲ得サル所ノモノナリ元來國家經濟ノ爲メ時ニ或ハ多少計算上ノ不利ヲ見
ルハ中央銀行其者ノ素質ナリ故ニ政府ハ嚴ニ他銀行ニ禁シ固ヨリ借スコト
ナキノ特權ヲ以テ之ヲ中央銀行ニ與フルヲ通例トス日本銀行ニ於テモ計算
上一方ニ於テ此不便アリト雖又一方ニハ兌換銀行券ノ發行ノ特權アリ株金
ノ外營利的ニ使用シ得ル所ノ資金ヲ有スル他行ノ能ク企テ及フ所ニアラス
又明年度ヨリハ彼ノ貳千貳百萬圓ノ貸付ノ爲メ營業外ニ得ル所ノ收入少シ
トセス夫レ單ニ特利ヲ享有シ之ニ報スルノ實ナキモハ天下ノ怨府トナリ
其基礎鞏固ナルヲ得ス日本銀行ノ特利ヲ有スル已ニ論難ナキヲ得ス國家經
濟ノ爲メ多少計算上目下ノ不利ヲ忍フハ中央銀行ノ免レサル所ニシテ特惠
ニ報スルノ已ヲ得サル所ナリ而シテ是レ他日其基礎ヲ固フスルノ所以ニア

ラサルナキヲ知ランヤ是レ今般外國手形再割引ト責任代理店ノ開設ヲ勸
奨スル所以ナリ彼ノ正金銀行ニ對スル特別貸付契約ノ如キハ責任代理店
ノ開設ヲ待テ之ヲ解除スヘシ速ニ橫濱正金銀行ト協議シ兌換銀行券ノ爲メ
確乎不拔ノ基ヲ開キ外國貿易ノ發達伸張ヲ計ルヘシ云云

政府ノ冀望斯ノ如シ然レモ是一方法ノミ其目的トスル所ハ兌換銀行券ノ基
礎ヲ固フシ外國貿易ヲシテ隆盛ナラシムルニアレハ右所說ニ優ルノ良法ア
レハ宜シク之ヲ開申スヘシ政府ニ於テモ亦大ニ取捨參考スル所アラントス

明治二十二年六月

大藏大臣伯爵松方正義

甲號附屬

橫濱正金銀行ヲ日本銀行ノ責任代理店トスルノ議

紙幣ノ制度已ニ定マリ日本銀行ハ兌換銀行券發行ノ權ヲ掌握シ其流通ヲ屈伸シ市場ヲ調和シ全國ノ信用ヲ維持發達スルノ大任ニ當ルヲ以テ其正貨準備ノ増進ヲ計ラサルヲ得サルヤ固ヨリ論ヲ俟サルナリ然ルニ我國ハ金銀生産國ニ位セス正貨ノ供給ヲ得ルハ只ニ外國貿易ノ道ニ據ルノミニシテ未タ彼ノ泰西諸國カ互ニ貨幣市場ニ近接シ一國正貨ヲ要スルモノアレハ單ニ中央銀行ノ利子割引歩合ヲ昇騰シ以テ大ニ正貨ヲ來スノ便ヲ有スルト日ヲ同フシテ論スル能ハサルモノアリ試ニ橫濱倫敦間ノ正貨輸送點ヲ見ルニ七厘貳毛弱ニシテ往復運送ノ費用凡ソ壹分四厘四毛弱ナリ今之ニ往復時間ノ利子及倫敦ヨリ正金ヲ我國ニ致シ得ル所ノ相當ノ利益ヲ加ヘハ我利子割

引歩合ハ八分以上ニ居ラサルヲ得ス只ニ正貨吸收ノ爲メ利子割引ノ歩合ヲシテ斯ノ如キ高度ニ至ラシメハ事業ノ發達得テ望ムヘカラス工商ノ業爲メニ萎靡衰退シ其結果實ニ恐ルヘキモノアリ果シテ然ラハ利子ノ昇騰ヲ以テ正貨ヲ我市場ニ來ス能ハス然リト雖正貨吸收ノ事タル我國一般經濟上之ヲ忽ニスルヲ得ス茲ニ於テヤ從來政府ハ大藏省ニ準備ヲ置キ毎年若干ノ金額ヲ支出シ外國爲換ノ事ニ從事シ一方ニ於テハ正貨吸收ノ道ヲ開キ一方ニ於テハ輸出貿易ノ發達ヲ幫助セリ已ニシテ時勢亦大ニ進ミ今ヤ準備ヲ舉テ之ヲ日本銀行ニ交付シ政府自ラ此等ノ事業ヲ爲スヲ止メ爾來正貨吸收ノ事ハ舉テ之ヲ日本銀行ニ任セントス果シテ然ラハ日本銀行ハ政府ニ代リ自ラ外國爲換ノ事業ニ從事セン乎元來外國爲換手形タル者ハ國際大商ノ間ニ行ハレ其確實ナル内地小商ノ間ニ行ハル、者ノ比ニアラス所謂一等手形ナル者ニ

屬スト雖我外國貿易未タ隆盛ナリト云フヲ得ス遽カニ外國ノ例ヲ以テ之ヲ推ス能ハサルモノアリテ其間或ハ危險ヲ冒サルモノナキヲ保セス今此事業ヲ以テ日本銀行ニ任スルハ國家ノ長計ニアラサルナリ然ラハ則チ日本銀行ハ毎年若干金額ヲ正金銀行ニ貸付シ之ヲシテ外國爲換ニ從事セシメ正貨ヲ以テ返金ヲ得以テ準備ヲ養ハン乎然リト雖外國爲換ノ事タル固ヨリ至難ノ業タリ自ラ資本ヲ抱キテ之ヲナス尙ホ且ツ難シ況ヤ他ニ資金ヲ借り之ニ利子ヲ支拂ハサルヲ得サルニ於テヤ正金銀行ハ勢低利ヲ以テ之ヲ借ラサルヲ得ス而シテ日本銀行ノ貸付ニハ抵當ヲ要シ加フルニ抵當物件ニ法律ノ制限アリ低利貸付ノ如キハ日本銀行之ヲナスニ苦シミ數百萬圓ノ借入ノ爲メ抵當物件ヲ調達スルカ如キハ正金銀行ノ得テ爲シ能フ所ニアラサルナリ由是觀之前兩策ノ如キハ皆是實地ナシ能ハサル所ノモノタリ果シテ然ラハ

其方法如何曰ク今日ノ策ヲナスモノハ日本銀行外國爲換事業ニ付テハ横濱正金銀行ヲ其責任代理店トシテ毎年若干金額ヲ日本銀行ヨリ正金銀行ニ交付シ之ヲ以テ外國爲換ノ事業ニ從事セシメ其利益ノ大部分ハ之ヲ正金銀行ニ交付シ返金ノ幾分ヲ正貨ニテ受取り爲換事業ニ係ル損失ノ責ハ一切之ヲ正金銀行ニ負擔セシムルニアリ果シテ然ラハ日本銀行八年々其準備ヲ増殖スルコトヲ得敢テ危険ノ事ニ馳スルコトナク益々其信用ヲシテ鞏固ナラシメ能ク中央銀行ノ任ヲ盡スヲ得ン而シテ横濱正金銀行ハ之カ爲メニ資力ヲ得大ニ其事業ヲ發達シ自己ノ資本ノ運轉ハ一層容易ナルヲ得益々其利益ヲ厚フスルノ利アリ而シテ外國貿易ハ亦能ク之ヲ鼓舞獎勵スルヲ得ン實ニ是レ一舉兩全ノ策ニシテ今日ノ策ヲナス之ヲ措テ他ニ求ムルモノナシ元來責任代理店ノ設置タル白耳義ニ於テ大ニ發達シ近年其便益頗ル顯ハル其目的

十

方法タル少シク前陳ニ異リ本店ノ爲メ割引事業ニ從事シ手形ニ關スル一切ノ責任ヲ負ヒ利益ノ幾分ヲ得ルニアリト雖又以テ則トスルニ足レリ今模範ヲ之ニ取り我理財機關特有ノ景況ト財政ノ急務トヲ斟酌シ前陳ノ方法ヲ設ケントス其本店代理店トノ間ノ契約ノ如キハ實際ニ望ミ大ニ監督ヲ加ヘ其宜シキヲ得セシメントス請フ速カニ閣裁アラシコトヲ

明治二十二年 月 日

大藏大臣伯爵松方正義

内閣總理大臣伯爵黑田清隆殿

十一

參照

リオンゼイ氏編纂財政字典銀行部ヨリ抄譯

近來白耳義國立銀行事業ニ關スル著シキ進歩ヲ見ルモノハ責任代理店ノ設置預リテカアリ元來此方法タル流通ノ擴張ト信用ノ普及ヲ兼テ永ク結テ解ケサルノ問題ヲ實地ニ演シ全ク之ヲ氷解セリ請フ少シク其組織方法及効驗ヲ述シ事業上支店役員ノ熱心ヲ惹起シ結局本店ニ向テ有スル責任ヲ全フスル爲メ代理店ニ於テ本店ノ爲メニ割引ニ從事シ得ル所ノ利益ノ幾分ヲ代理店ニ支給ス而シテ此方法ハ割引事業ノ擴張スルニ從ヒ代理店ノ所得ヲ増加スルモノタルヲ以テ代理店ハ大ニ之カ發達ヲ計リ自然割引事業ノ伸張ヲ助ケ又割引事業ニ係ル責任ハ其負擔ナルヲ以テ代理店ハ大ニ其業ヲ慎ミ不良ナル手形ノ割引ヲ避クルノ効驗アリ

此方法ニ據リ割引事業ハ大ニ發達シ代理店ノ本店ノ爲メ割引スル高ハブルクセルノ本店アンウエルノ支店ノ割引高ニ比シテ却テ多キヲ致スニ至レリ畢竟此方法ハ紙幣ノ流通ヲ助ケ其基礎ヲ鞏固ナラシメ商工ノ事業ヲ幫助シ割引事業ヲ擴張シ其歩合ヲ低フシ政府カ國立銀行ニ付與シタル利益ヲ全フスルノ目的ニ出ルモノナリ實ニ代理店事業經營ノ謹慎ナルト本店ノ監督其宜キヲ得ルトニ由リ國立銀行ハ國家幸福ヲ増スノ大任ヲ全フスルモノニシテ白耳義國一般繁榮ノ爲メ責任代理店ノ制度ハ緊要ノ機關タリト云フト雖敢テ誣言ニアラス特ニ經濟學者ノ注意ヲ引クニ足ルモノアリ

乙號

奉答卑見

客月七日閣下日本銀行へ來臨ヲ賜リ重役等ニ諭スニ日本銀行ノ業務擴張ヲ計ランカ爲メ横濱正金銀行ヲシテ責任代理店タラシメンコノ可否ヲ以テセラル重役等感佩ノ至ニ堪ヘサルナリ謹テ高諭ニ對シ日本銀行創立己來ノ狀況ヲ鑒ミ將來ノ利害得失ヲ反覆講究シ以テ爰ニ奉答セントス然レモ本論ハ簡易ヲ主トシ其要ヲ摘ミタルニ過キサレハ或ハ論旨ノ盡サ、ランコヲ恐ル然ルニ客年ノ冬吾正貨消長ノ如何ヲ講究シ備忘ノ爲メ一小冊ト爲シ置キタルモノアリ今幸ニ本論ニ添ヘ捧呈スルノ榮ヲ得タリ之レ本論ノ不足ヲ補ハントスル微志ニ過キササルナリ電覽ヲ給ラハ幸甚

一本論ヲ草スルニ當リ文中尊嚴ヲ瀆シ又ハ高諭ニ協ハサル所ノ事多キヲ恐

ル然レモ是レ國家經濟上重要ノ論題ニ付文字ノ潤飾ヲ顧ルニ暇アラス又
忌諱ヲ憚リ黙止スルニ忍ヒス唯意見ヲ吐露開申スルノ切ナルニ過キサレ
ハ希ハクハ賢察ヲ給ランコトヲ

一本論ニ先タチ特ニ左ノ二項ヲ提出セシモノハ本論全体ニ涉リテ頗ル緊切
ノ關係ヲ有スル要項ナルカ故ナリ

本論全体ニ關係アル要目

其一 一商賈或ハ一會社ノ營業ノ利害ト一國貿易ノ利害トハ其間大別アル
ヘキ事

其二 銀貨回收ヲ計ルニハ不換紙幣ヲ元資ト爲スト兌換銀券ヲ元資ト爲ス
トハ其間大別アルヘキ事

右第一項ニ對スル理由ハ一商賈又ハ一會社ノ營業ナルモノハ單ニ榮利

ノ目的ヲ成就スルニアレハ其業務上自國ノ製産ヲ傷フモ其貿易ニ害アル
ルモ自己營業ノ權衡我レニ利アレハ之ヲ行フハ其本分ナラン縱令ハ外
國爲替ヲ業トスルニ及ンテ自國ノ貿易權衡ヲ失シ逆貿易トナルト假定
センニ貿易ノ「バランス」自國ノ負債トナリ正貨ヲ輸出スル時ニ臨ンテ
尙外國手形（日本仕拂手形）ヲ買入レ益々正貨ノ輸出ヲ促スカ如キハ自己ニ取リ
テ買益アルモノ一國ニ取テハ其不利ナルコト言フ俟タサルナリ是等ノコト
枚舉ニ暇アラサルヘシ佛國大儒「モンテスキユ」ノ言ニ政府一商賈ノ
商賣ヲ制限スルハ其國ノ貿易ヲ利スルカ爲メナリ都テ其檢束ノ嚴ナル
ハ善政ノ兆ナリト云ヘリ實ニ大儒ノ格言ト常ニ服膺スル所ナリ

第二項ニ對スル理由ハ不換紙幣ヲ以テ銀塊ヲ買入レタルハ縱令其計算
上ニ不利ヲ來タスモ素ト之レ銀紙ノ差損ニシテ只其差損ノ厚薄ニ付テ

取扱ノ巧拙ヲ論スルマテナレモ今ヤ銀塊ヲ買フニ銀貨ヲ以テシ幾度之ヲ買フモ其轉回毎ニ船賃保險賃及ヒ鑄造費等ヲ損シテ毫モ益スル所ナシ本是レ爲替料ハ現送費スレサドノ上ニ登ラサルハ經濟ノ原則ニシテ前述ノ如キハ理財家ノ最モ忌ム所ナリ如スキハ元資ノ消耗スルモ決シテ其増殖ヲ視ルコナシ是レ不換紙幣ノ使用ト兌換銀券ノ使用ト大別アル所以ナリ

代理店ヲシテ商業ヲ營マシムルノ不利ナル事

一正金銀行ヘ巨額ノ資本ヲ投シテ銀貨買收ヲ計ラシムルモノハ同行ニ取テハ不利ナリ又日本銀行ニ取テモ不利ナリ兩行合セテ不利ナレハ國家經濟上ノ不利ナリト謂ハサルヲ得ス

其不利ナル大要ヲ略述スレハ外國爲替ナルモノハ極メテ薄利ノ業ナリ即

チ明治二十一年ニ係ル横濱正金銀行外國爲替損益計算ヲ視ルニ純益僅カニ四五歩ノ間ニアラントス如斯情況ニ對シ今後日本銀行ノ代理トシテ其業務ヲ營ミ日本銀行ノ冀望ヲ充サンニハ利益尙其半額ニ過キサラン乎(其理由ハ已下ニ縷述ス)之レ薄利ノ業益々薄利ニ赴クモノニシテ正金銀行ニ取テ不利ノ第一ナリ其理由ハ日本銀行カ輸出貿易ヲ鼓舞シ又ハ輸入貿易ヲ檢束スルノ方略ヲ取ルニハ海外爲替手形ノ賣買上ニ對シテ共ニ適當ノ所置ヲ施サ、ル可ラス假令ハ外國貿易ノ權衡我レニ不利ナルモハ日本仕拂商業手形ハタトヒ買手ニ益アルモ買入レヲ爲サス外國仕拂商業手形ハ高價ノ割ヲ以テモ之ヲ買入レンコトヲ勉サル可ラス又日本銀行ノ準備消長ニ對シテモ手形ノ賣買ヲ制限スル場合アルヘシ今是等ノ事ヲ實行センニハ自家ノ利益ヲ放棄シ以テ貿易ノ均調整理一方ニ注目セサル可ラス從來正金銀

行カ取扱ヒタル爲替事業ニシテ前述ノ如ク貿易ノ消長ヲ窺ヒ其處置ヲ盡シタルカ否傍觀スルニ生糸輸出ノ盛時ニ際シ銀貨モ亦共ニ輸出シタル奇相ヲ呈セシ一屢々ナリ是ヲハ兌換券責任ヲ有スル日本銀行ニシテ坐視スルニ忍ヒサル處ニシテ當時度々卑見ヲ陳シテ清聽ヲ煩ハシ奉リタルコアリキ然レモ一方ニ於テハ合本資金ニ對シ株主配當ノ責メヲ負フ所ノ會社ナルヲ以テ之カ均調整理ヲ遂クル能ハサリシナラン故ニ正金銀行ヲシテ今ヨリ代理店トナリ之ヲ取扱ハシムルモ各其經濟ヲ異ニスル以上ハ其處置蓋シ保シ難カラシカ果シテ然ラハ啻ニ兩行ノ間ニ紛議ノ生スルノミナラス日本銀行カ國家ニ對シ忠實ナラサルノ責ヲ免レサルヘシ是レ日本銀行カ不利ナル所以ナリ

日本銀行所有ノ責任ヲシテ全カラシムルヲ冀望スル事

一日本銀行ノ業務上ニ於テ最モ謹重ヲ要スヘキモノハ兌換券流通ノ道ヲ整理スルヲ以テ第一トス兌換券流通ノ整不整ハ主トシテ正貨準備ノ厚薄ニ在リ正貨準備ノ厚薄ハ重ニ外國貿易輸出入ノ權衡如何ニ據ラサルハナシ是レ日本銀行カ最モ其重キニ任シ創立ノ旨趣ニ戻ラス政府ニ對シ其責任ヲ全フセンコトヲ孜々トシテ常ニ怠ラサル所ナリ然シテ今ヤ假令内ニ金融ヲ均調シテ製産ヲ獎勵スルノ實アルモ未タ外ニ爲替相場ノ割合ヲ昇降シ以テ貨物ノ輸出ヲ獎勵シ輸入ヲ檢束スルノ實權ヲ有セス兌換券整理上ノ要部ヲ他ニ一任シテ傍觀坐視徒ラニ苦慮スルニ過キサルナリ

今日諸獨立國貿易上ノ政略ヲ察スルニ貨物ノ輸出入ヲシテ自然ニ放任スルモノニアラス每國皆ナ夫々其貿易制度アリテ其國ノ強弱ニ從ヒ種々ノ策略ヲ用ヒテ各其利ヲ計ルヲ勉ム今英國ニ付テ之ヲ例センニ其外國貿易

ニ對スル政策トシテハ常ニ英倫銀行ヲ利用シテ其割引歩合ヲ昇降シ以テ金融ヲ左右シ輸出ヲ獎勵シ他國ヲシテ貿易上ノ逆位置ニ立タシメ自己ノ順位置ヲ占ムルカ如キ即チ是ナリ

抑英國カ常ニ自由貿易ヲ唱ヘナカラ夫レ斯ノ如ク萬國共同貿易ノ旨趣ニ背ヒテ言行一致セサルヲ嘲弄スルノ事實ハ間々經濟書中ニ視ル所ナリ惟フニ英國ハ其國力ノ強ヲ挾ミ海外ニ雄飛シ陽ニ自由貿易ヲ主張スト雖モ陰ニ自國ノ利ヲ規スルニ當テハ輸出ヲ獎勵シ輸入ヲ檢束スルノ方策ハ一毫タモ餘マス所無シ之レ則チ英國ノ富強ヲ致ス所以ニシテ決シテ偶然ノ事ニアラサルナリ今我國ノ産出力英國ト比スヘカラス隨テ貿易モ幼稚又地位モ異ナリ泰西諸國ト同一ニ論ス可ラスト雖モ中央銀行カ一國貿易ノ利ヲ規スルニ於テハ共ニ同一ノ法ヲ講セサルヘカラス之ヲ外ニシテハ富

實ヲ永遠ニ求ムルノ道アラサレハナリ

於是乎前ニ屢々其利害ヲ縷陳シタルカ如ク日本銀行ハ此重大ノ事件ヲ他ノ銀行會社ニ托シテ以テ爲シ得ヘキノ業ニアラス冀クハ其責任ヲ全センカ爲メ海外爲替又ハ其他ノ方法ヲ擇ヒ多利少弊ノ道ニ付テ準備ノ増殖ヲ實行センコトヲ尤モ其方法順序ニ至テハ正金銀行從來設置スル處ノ海外支店ノ如キハ尋常取引上ノ協議ヲ遂ケテ委任スルモ妨ケサルヘシ唯巨額ノ資ヲ托シ拱手シテ其處置ヲ望ムカ如キハ弊害ヲ醸出スルノ媒介タルヤ疑ヲ入レサル所是レ兩行ノ不利國家經濟ノ長計ニアラサルナリ愚見如斯シ然レモ正金銀行ハ尙強テ從來ノ事業ヲ繼續センコトヲ望マハ同行ヲシテ日本銀行ニ合併シ以テ同行株主ヲシテ満足セシムルニ如カス之レ國家經濟上利弊ノ分カル、處誠ニ止ムヲ得サルノ一策ナリトス

再言ナカラ本論卑見ノ足ラサル所ハ別冊正貨増減調ヲ参照セラレ以テ兼テ兌換券整理上ニ付規圖スル所ノ微意ヲ諒察セラレンコトヲ懇願ニ堪ヘサル也

日本銀行

富田鐵之助

明治廿二年七月十二日

大藏大臣松方伯閣下

丙號

爲替方法按

外國爲替事務カ兌換券準備ニ緊密ナル關係ヲ有スル事及ヒ日本銀行ハ之ヲ他ニ一任シテ其爲スニ任セ袖手傍觀スヘカラサル事ハ本月十二日奉呈シタル書中ニ之ヲ具申セリ而シテ今若シ日本銀行親シク自カラ之ヲ取扱フノ命令ヲ得ルトキハ其實施上ノ計畫如何ト云フニ別ニ奇策妙計アルニモ非ス其取扱ノ外形上ハ矢張現時正金銀行カ取扱フ處ト敢テ異ナルコトナカルヘシ然レモ其取扱ノ成績如何ハ直チニ已レカ準備ニ影響ヲ受ケ其關係スル處至大ナルヲ以テ目前ノ營利ヲ棄テ、爲換市上ノ均調ヲ計ラサルヘカラサルノ點ニ至テハ蓋シ大ニ異ナル處アルヘシ之ヲ換言スレハ一ハ自家ノ營利ヲ以テ第一ノ目的トシ一ハ全体ノ均調ヲ計ルヲ以テ目的トシ此目的ヲ達センカ爲

メ營利ヲ放棄スヘシ否放棄セサルヲ得スト云フニアリ尙左ノ二項ヲ以テ本
事務取扱上ノ要點ナリト思惟致候

一 成ルヘク外國爲換市況ニ惡シキ影響ヲ及ホサル方法ヲ撰取シ政府
ノ外國支拂金事務ヲ處辨スルコト

二 外國爲替市上ニ於ケル外國銀行者ノ壟斷狹策ヲ防キ外國爲替ノ相場
ヲシテ常ニ相當程度ニ在リ以テ我貿易上ノ不利ヲ生セサラシムル
様之ヲ整理スルコト

右二要項ハ市場整理上ノ必要ナリ而シテ兌換券準備補充ニ對スル關係及ヒ
豫テ政府ノ厚ク鼓舞獎勵セラル、直輸貿易荷爲替取扱方ノ如キハ左ニ具陳
可致候

第二款

抑モ外國爲替ノ得失及ヒ兌換券整理方ヲ講究セント欲セハ先ツ之ニ特別ノ

關係ヲ有スル左ノ三事項ヲ審カニスルヲ必要トス

第一 本邦貯藏スル金銀及本邦所産ノ金銀ハ共ニ少量ナル事

第二 本邦人民ハ概シテ正貨ノ必要ヲ感セス故ニ正貨ヲ出シ得ル限りハ
漸次之ヲ外國貿易ノ港口ニ出シ之ヲ内地ニ入ル、コト甚タ稀ナル
事

第三 本邦人民ハ文化ノ進歩急速ヲ欲スルカ爲メ及ヒ之ニ附隨シテ避ク
ヘカラサル弊風ノ爲メニ購買力ノ許ス限りハ外物ヲ購買ス又時々
購買力ノ如何ニ拘ハラズ外品ヲ購買スルモノアリ

又爰ニ特書スヘキモノアリ何ソヤ本邦輸出ノ消長是ナリ夫レ輸出ノ長
スルハ素ヨリ國産繁殖ノ徵ニシテ國富ヲ致スノ道ナレハ寔ニ喜フヘシ
ト雖モ外品必要ト外品嗜好ノ情況既ニ前述第三項ノ如キカ故ニ輸出増

加スレハ輸入モ亦直チニ増加シ國富ナルモノハ單ニ輸入物ノミヲ以テ其形ヲ示シ硬貨其數量ヲ加ヘス外國爲替相場我利益ノ方ニ歸セサルハ毫モ輸出ノ長セサル時ト異ナルコトナシ是レ近年ノ實例ニ徴シテ昭然タリ且愚見ヲ以テスレハ此狀勢ハ恐ラクハ尙少數歲月ノ能ク變化スル處ニ非ルヘシ

夫レ右ニ述フルカ如ク國內既ニ金銀ニ乏フシテ然モ尙之ヲ需メントセス且購買力ノ消長ハ直チニ輸入ノ消長ト爲ルトキハ其間ニ行ハル、所ノ外國爲替ナルモノハ蓋シ源ノ遠カラサル底ノ深カラサル細流ト一般ナルノミ之ヲ開整移轉スルハ太々易シ故ニ若シ之ヲ外國銀行者ノ爲スニ放任セハ其之ヲ攪亂シテ其壟斷狹策ヲ逞フスルニ何ノ難キコトカアラン又私利ヲ後ニシ國益ヲ重シシ之ヲ整理スレハ相當ノ程度マテ之カ均調ヲ得ルハ亦太々難事ニハ

非ルヘシ要スルニ攪亂ト整理ト共ニ平時ニ在テハ寧口與ニシ易キノ市場ト謂フヘキ歟

是故ニ日本銀行若シ自ラ外國爲替ノ事務ニ當ラントセハ成ルヘク單純ニシテ弊ノ少ナキ途ヲ撰ミ之ヲ行ハンコトヲ期ス其組織及方法ノ大要凡ソ左ノ如クナルヘシ

- 一 横濱ニ支店ヲ設ケ外國爲替及ヒ兌換ノ事務ヲ取扱ハシム
- 二 大凡金五百萬圓ヲ以テ其爲替事務平時ノ資本ニ備フ(若シ夫レ資本不足ノ場合ニ於テ之ヲ補充スル方法ノ如キハ乞フ下欸ヲ參觀スヘシ)
- 三 倫敦及ヒ紐育ニ於ケル確實ナル銀行ト「コルレスポンドンズ」ノ約束ヲ取組ミ倫敦ニハ資金ノ内大凡金貳百萬圓ノ根抵當(該地ノ公債證書ヲ買入レテ之ニ充ツ)ヲ差入レ紐育ハ略ホ其半額ノ根抵當(該地ノ

公債證書)ヲ差入レ置クヘシ(互相ノ權理根抵當ヲ要セスハ尤モ上策ナリ)

六

四 倫敦及ヒ紐育ニハ日本銀行ノ出張員ヲ派シ置キ常ニ(コルレスボンデンス)銀行又ハ直輸商人等トノ間ニ在テ其用務ヲ擔任セシム

但正金銀行ト協議調ヘハ之ヲ同行支店ニ托スルモ妨ケナシ

五 日本銀行ハ右ノ組織ヲ以テ假令海外所有金一時絶間ナルモ雖モ政府ノ需用又ハ民間重要ノ買入物代價支拂ノ請求ニ應シ自行ノ手形ヲ發シテ爲替ヲ取扱フコトヲ得又右ノ組織ヲ利用シテ日本銀行ハ漸次自行ノ手形ニ海外ノ信ヲ取ルノ便宜ト爲ス可シ

六 政府外國支拂金ノ爲替ハ政府ノ指命セラル、處ニ從フヘキハ勿論ナリト雖モ若シ裁許セラル、ニ於テハ時々ノ普通爲替相場ヲ以テ其計

算ヲ爲スヘシ然ルトキハ則政府ハ其巨額ノ取組ニ付普通銀行者ニ其時々相場ヲ上下セラル、ノ損失ト特別ナル爲替手数料ヲ避ケ得可クシテ日本銀行ハ平常直輸獎勵ノ爲メ取組ムトコロノ荷爲替其他ヨリ生スル外國貨幣ヲ處スルノ一方便ヲ得ヘシ

七 直輸出商ニ對スル荷爲替ハ或ハ從前ニ比シ一時窮屈ノ感アラシムルモ確實信誼ノ度ハ一層進メサル可ラス尤モ其範圍内ニ在テハ可及丈ケノ便利ヲ與フヘシ

八 外國爲替相場整理ノ爲メニ執ル所ノ方針ニ至テハ商況ノ時機ニ應スルノ進退アルヘキニ付之ヲ豫定スルヲ得スト雖モ其針路ノ要ハ大畧左ノ數點ニ過キサルヘシ

一 輸出入時々ノ差算ノ爲メ稀レニ輸入スル處ノ金銀及内地所産ノ地金

七

銀ハ成ルヘク之ヲ取テ兌換準備ノ補充ト爲シ之ヲシテ海外ニ驅逐セシメサルヘシ

- 一 一旦ノ商況ニ依リ現ニ本邦ニ保持シ能ハサル金銀ヲ一時輸入現送スルカ如キハ忽チ之ニ對スル金銀輸出ヲ促シ内外諸費ヲ徒損スルニ過キサルヲ以テ此ノ如キ弊ハ之ヲ除ク可シ
- 一 絲茶等畧ホ期節アル輸出物品賣込ノ前ニ臨テハ成ルヘク在本邦外商ノ手元ヲ緩ニシ其支拂ヲ便ナラシムル様其期ヲ計リテ專ラ外商ノ手形ヲ買取ルコトアルヘシ
- 一 市上ノ情況ニ因リ國益ト認ムルトキハ爲替手形ヲ活用シ(所謂逆爲替ノ方法ヲ用フル等)海外低利ノ金員ヲ以テ本邦高利ノ金融ヲ助クルコトアルヘシ

一 地金銀相場一時ノ低落等本邦貨幣ノ利害ニ關スル市況ヲ認ムルハ大藏省ニ稟議シ臨機ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

前述ノ諸點ニ對シ(殊ニ保證ハ確實ナルモ代金拂込ハ後日ヲ期シ爲換取組ヲ要スル等ノ場合ニ於テハ)或ハ横濱支店ノ外國爲換充テ資本薄弱ニ過クルノ感ナキニ非ストイヘル日本銀行自ラ之ニ當ルハ大藏省證券其他確實ニシテ兌換ノ準備ニ充ツヘキ抵當ヲ以テセハ本店ハ資金ノ援助ヲ與フルヲ敢テ難キニ非ルヘシ

要スルニ日本銀行ノ外國爲替部ハ營利ヲ後ニシテ整理ヲ主トシ能ク其關係スル所ヲ斟酌シテ處辨スルニ於テハ畢竟銀行全部ノ利益即チ本邦全体ノ公益ハ自カラ其中ニ存スルモノト思考致候
然リ而テ以上述フル所ノモノハ皆平時ノ論ナリ若シ不幸ニシテ凶歲外患等

國家一朝事アリテ貿易ノ如何ニ拘ハラズ外品ノ輸入ヲ急需スル場合ニ遭遇セハ前第二欸ニ述フル三項ノ情況ハ忽チ其惡結果ヲ顯ハシ内ニハ金銀ノ援助無ク外ニハ爲替打歩ノ上騰スルアリ兌換券準備ノ源泉枯竭シテ日本銀行ハ孤立危殆ニ陥ルヲ免カレサルヘシ是ノ如キハ固ヨリ前陳組織方法ノ能ク支撐シ得ヘキ所ニアラサルナリ然レモ此場合ニ際セハ隨テ日本銀行ハ其全カヲ奮テ之ニ當ルヘキハ勿論或ハ政府ヨリ臨機特別ノ保護ヲ仰クコトアルヘシ是レ蓋シ英米スラ且既ニ其例證アリシモノニシテ百年ノ内或ハ無キヲ保シ難シト覺悟ナカルヘカラサルモノナリ

且前第二欸三項ノ情況ノ如キハ本邦鎖國長眠ノ曉浩蕩タル大勢ノ然ラシムルモノニシテ唯官民相共ニ其心ヲ結合シ各其業職ニ應シテ尙數十星霜ノ耐忍ヲ經始メテ之ヲ脱却スルヲ庶幾スヘク今劇カニ之ヲ奈何ントモスル能ハ

ス誠ニ恐懼ノ外之レナシ若シ夫レ地金銀ノ市價ニ劇變アリ又ハ清國香港等ノ商況ニ大消長アル等ニ起因スル爲替市場ノ擾亂ニ至テハ日本銀行ハ本邦ノ爲メ及ヒ自行ノ爲メ專ラ其損害ヲ防禦スルニ勉ムヘキノ外アルヲ知ラサルナリ只平常翼翼謹慎シテ其務ムヘキ所ヲ勉メ其餘ハ聖代ノ幸運萬々是等災害ニ遭際セサランヲ禱ル而已

右御下問ニ對シ謹テ愚見ヲ開陳致候幸ニ電覽ヲ賜ヒ尙高諭ヲ辱フスルヲ得ハ難有奉存候誠恐頓首

日本銀行

富田鐵之助

明治廿二年七月三十日

大藏大臣松方伯閣下

Blank page with a small tear at the top center and a small white mark on the left side.